地方独立行政法人 北海道立総合研究機構建築研究本部
Mail Magazine【建築研究本部かわらばん】VOL.158 2022/9/27
このメールマガジンは、北海道立総合研究機構(道総研:どうそうけん)建築研究本部が、日頃の調査研究、普及業務などで携わっているニュースを中心に、毎月お送りしているものです。
□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■
■令和5年度採用研究職員を募集しています。
■ほっかいどう住宅フェア2022関係のお知らせ I 北総研シンポジウムを10月15日(土)に開催します。 II チカホ・アカプラ会場に出展します。
■研究紹介 「農作物等とヒトの輸送を組み合わせた統合型輸送システムの可能性」
■課題対応型支援制度制度の紹介
■お知らせ □ほっかいどう住宅フェア2022に「北総研こどもの家」を出展します。 □ホームページの更新情報
//_/_/_/_/_/_/_/_/_/_/_/_/_/_/_/_/_/

■ほっかいどう住宅フェア2022関係のお知らせ

国土交通省が定める住生活月間の10月に、北方型住宅を始めとする北海道の家づくりなどに関する施策・取り組み・製品について、自治体や住宅関連団体・企業などが集い、広く一般ユーザーにPRするイベント「ほっかいどう住宅フェア2022」が札幌市内で開催されます。

●イベント:北海道住宅フェア2022 (ほっかいどう住宅フェア実行委員会主催)

●出展日時:10月15日(土)9:00~19:00、10月16日(日)10:00~18:30

▼ほっかいどう住宅フェア2022の詳細については下記URLからご覧ください。

https://www.kita-smile.jp/fair2022/

I 北総研シンポジウムを10月15日(土)に開催します。

住宅フェア関連イベントとして、北総研シンポジウム「これからの住まいのあり方」を 開催することとなりました。

会場とオンラインのハイブリット開催となります。ぜひご来場、ご視聴ください。

●開催日時:令和4年10月15日(土)15:00~17:20 ※開場14:30~

●開催場所:かでる2.7大会議室(札幌市中央区北2条西7丁目)及びWeb

▼参加申込みについては下記URLのページから行ってください。

http://www.hro.or.jp/list/building/koho/event/event_r04-2s.html

▼開催案内チラシについては下記URLからご覧ください。

http://www.hro.or.jp/list/building/koho/event/RO4_h-symposium_flyer1.pdf

Ⅱ チカホ・アカプラ会場に出展します。

建築研究本部では、ほっかいどう住宅フェア2022 (チカホ会場) の、「北方型住宅PRコーナー」に、北海道建築指導課と共同で、北海道の住宅のあゆみや北総研の最新研究成果などを 展示いたします。

また、アカプラ会場(赤れんが前)で「北総研こどもの家」を出展します。

「北総研こどもの家」は2×4工法を用いて作られた木造の家(2分の1スケール)となっており、家の中にはミニキッチンセット等があり、子ども達にとって秘密基地的な遊び場になるよう設計されています。

ぜひ、チカホ会場の「北方型住宅PRコーナー」、アカプラ会場の「北総研こどもの家」に もお立ち寄りください。

||_|_|_|_|_|_|_|_|_|_|_|_|_| ■研究紹介

「農作物等とヒトの輸送を組み合わせた統合型輸送システムの可能性」 企画調整部 企画課 岡村 (平成30~令和3年度 経常研究)

北海道の小規模市町村では、人流・物流の交通手段の確保が重要な課題となっています。 建築研究本部では、ヒトとモノを一緒に運ぶことで、地域の交通をより効率化するための研 究を進めてきました。本研究では、農家〜選果場までの農作物輸送とヒトの輸送を合わせて て 行う方式(ヒト・モノ輸送)に着目し、その可能性を明らかにしました。

農協や農家へのヒアリング調査などから、トマトなどの、毎日少量の収穫と輸送が行われている農作物(以下「少量多頻度農作物」)がヒト・モノ輸送の対象になり得ることが分か

ました。さらに、道内の2つのモデル市町村を対象に、少量多頻度農作物とヒトを合わせ 運ぶヒト・モノ輸送に関して、事業の支出額を算出しました。その結果、少量多頻度農作 の中でも、一農家当たりの輸送量が比較的少ない農作物の方が、ヒト・モノ輸送に適して ることが分かりました。

本研究の内容や、交通計画の見直しなどにご関心のある市町村や事業者の方は、気軽に お声かけください。

▼本研究の研究紹介資料については下記URLからご覧ください。

https://www.hro.or.jp/list/building/pdf/R3gaiyou/R3_poster02.pdf

▼本研究の研究報告書については下記URLからご覧ください。

https://www.hro.or.jp/list/building/result_pdf/R03h/425.pdf

道総研の課題対応型支援では、従来の技術指導に加えて、追加・補助的な試験等を実施 ます。道内の企業・自治体等が抱えている技術的課題に対応するため、単に依頼試験の成 書をお返しするだけでなく、調査、分析、評価などを実施し職員から、より実効性の高い 技 術指導・アドバイスを行います。

建築研究本部では、近年道内外の自治体からの地域や防災など行政課題の対応に関する 依頼が増えています。例えば、令和3年度には鷹栖町に対して市街地活性化に関する支援 実施しました。市街地のもつ課題を整理した上で、過去に実施されたアンケートの再分析 住民ヒアリングなどから、市街地に求められる機能とその実施方法をご提案しました。

まず、事前相談において、課題の整理と対応の検討をさせていただきますので、気軽にお 合せください。

▼課題対応型支援制度の詳細については下記URLからご覧ください。

http://www.hro.or.jp/support/consult/kadaitaiou.html

□2022年9月9日更新

【9月30日〆切】令和5年4月1日採用予定の研究職員を募集しています。

http://www.hro.or.jp/hro/recruit/recruit/kenkyu.html

□2022年9月5日更新

【申込受付中】10月15日(土)北総研シンポジウムを開催します。

http://www.hro.or.jp/list/building/koho/event/event r04-2s.html

□2022年8月23日更新

メールマガジン「建築研究本部かわらばん」(vol. 157)を配信しました。

http://www1.hokkaido-jin.jp/mail/magazine/

■管理者からのお知らせ

2022年6月号(VOL.155)より、メルマガの配信方法が変更となりました。

登録内容の変更や配信停止または、アドレスを登録した覚えのない方は、お手数ですが 下記URL内の「メールマガジンの変更」をクリックし、手続きを行ってください。

メールアドレスの変更、配信停止の手続きを行ったにもかかわらず、行き違いにより配信される場合がございます。ご了承ください。

▼購読申込・変更・配信停止はこちら

http://www1.hokkaido-iin.ip/mail/magazine/

購読申込は「新規登録」、変更・配信停止の場合は「メールマガジンの変更」を、クリ ックし、手続きを行ってください。

ご登録いただいた情報は、メールマガジンの配信及びイベント情報の配信を目的として 利用し、それ以外の目的に使用することはありません。

▼その他お問い合わせメールフォーム メルマガに関するご質問やご意見等がございましたら、下記URL内のお問い合わせフォ ームに入力し、送信してください。

https://www.hro.or.jp/cgi-bin/mail/index.php?id=hokusoken_q

発行:(地独)北海道立総合研究機構 建築研究本部

http://www.hro.or.jp/list/building/

各種SNSで業務紹介しています!

http://www.facebook.com/nrb.bdrd/

http://www.youtube.com/c/道総研建築研究本部チャンネル